

令和2年度教育行政執行方針(要約)



教育長 辻 俊行

教育委員会として令和2年度に重点的に取り組む施策について申し述べます。

1 変化する社会を 生きる力の育成

各学校において、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業改善に取り組みます。小学校においては、算数科の非常勤講師を配置するとともに、外国語指導助手や外国語活動サポーターの活用や外国語に係る教員研修の実施、効果的な教材を活用したプログラミング教育に取り組みます。中学校においては、免許外指導の改善を図るため、非常勤講師を配置します。

学校図書館につきましては、図書管理システムを整備するとともに、学校司書の配置を拡充し、読書環境の整備や読書活動の充実を図ります。

特別支援教育につきましては、子どもや保護者の多様化するニーズに対応するため、専門機関との連携を図り、学

校全体で支援する体制の充実に努めるほか、通常の学級に在籍する心身に軽度の障がいのある中学生を対象とした通級指導教室を開設します。

いじめの問題につきましては、学校、家庭、地域、関係機関などと緊密に連携し、未然防止や早期発見、早期対応の取り組みを進めます。また、LINEによる相談の試行を継続します。

不登校対応につきましては、フリースクールなどの民間施設等と情報共有を図り、連携した取り組みを進めるほか、学校と関係機関との連携や、保護者への支援・相談を行うスクールソーシャルワーカーを活用します。

さらに、日本語指導を必要とする児童生徒に対して、個別の学習支援や日本語指導を行う支援者を派遣します。

2 地域とともにある 学校づくりの推進

すべての市立幼稚園、小・中学校および高校に導入したコミュニティ・スクールを通じて、保護者や地域と連携しながら、創意ある取り組みを推進するほか、地域と学校が連携・協働した取り組みを行う地域学校協働活動を推進す

るため、地域コーディネーターを配置します。

学校における働き方改革につきましては、ICカードを活用して教職員一人ひとりの勤務時間を把握するほか、市立函館高等学校においても部活動地域支援者を活用します。

教職員の資質・能力の向上につきましては、南北海道教育センターの研修内容を充実するとともに、指導主事等が学校からの要望に応じて行う訪問研修を推進します。

学校施設につきましては、本市初の義務教育学校となる戸井学園の令和3年度の開設に向けた増築工事などに着手するほか、施設の改修や修繕等による学校環境の充実に努めます。

市立函館高等学校につきましては、進学重視型の普通科単位制高校として、創意ある教育課程を編成し、魅力ある高校づくりを進めます。

社会科副読本や小学生向けオリジナル映像などを活用し、函館の歴史や文化、自然など、函館の良さを感じることでできる教育活動を推進します。

また、市立小学校の児童が、大船遺跡や垣ノ島遺跡、縄文文化交流センターを見学するなどの郷土学習を実施します。

さらに、市立函館高等学校の生徒を対象とした海外留学事業を実施します。

4 生きがいを創り出す 生涯学習の推進

4月オープンした亀田交流プラザでは、幅広い世代の市民に生涯にわたる学習活動や多様な交流の場を提供します。

また、高齢者が楽しみながら知識や教養を身に付け、仲間づくりを通して、生きがいのある生活を実現できる学習の場を提供します。

さらに、子どもや地域住民の読書活動の場として、学校図書館の地域開放を進めます。

5 心の豊かさを育む 文化芸術の振興

函館市青少年芸術教育奨励事業や文化芸術アウトリーチ事業を実施するとともに、はこだて国際民俗芸術祭などの市民の自主的な文化活動を支援するほか、障がいのある方とつくる市民ミュージカルを上演するなど、市民文化祭の充実を図ります。

このほか、リニューアルした函館市民会館をはじめ、各施設において、市民の文化芸術活動の促進を図ります。

さらに、旧函館区公会堂の保存修理、垣ノ島遺跡の整備や五稜郭跡の堀の石垣改修に取り組みほか、函館ハリストス正教会復活聖堂、遺愛学院

本館および大谷派本願寺函館別院の保存修理事業の費用を助成します。

また、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録に向け、南茅部地域での縄文フェスタや博物館での企画展の開催などにより、縄文遺跡群の価値や魅力を積極的に発信し、市民の関心を高めます。

6 健やかな心身を育む スポーツの振興

健康づくりとスポーツへの関心を高めるとともに、子どもがスポーツに参加する機会を充実させ、市民だれもがそれぞれの体力や年齢等に応じて参加できるスポーツ・レクリエーション活動の推進を図ります。

さらに、各種スポーツ団体等と連携し、競技大会の開催やスポーツ合宿などの誘致、プロスポーツイベントの開催などにより、市民のスポーツへの関心を高めます。

また、5回目となる「函館マラソン」のさらなる充実をめざします。

このほか、東京オリンピック聖火リレーの円滑な実施が図られるよう準備を進めるとともに、千代台公園のテニスコートを増設に向けた実施設計、市民スケート場の整備を進めます。